# 千屋板金工業 株式会社

# 鋼板を切断する最新の機械導入で 仕事の幅を広げる







鋼板を平らにするレベラ-

### 事業内容

### 組織的な体制を築く

同社は住宅や工場の屋根、樋、外壁の外装工事を 行う建築板金会社。新築からリフォームまで幅広く 手がける。家内工業的な建築板金業が多いなか、同社 は従業員15名と組織的な体制を築いている。幅6m の鋼板の曲げ加工ができるベンダーをはじめ保有設備 も充実している。

住宅向けの屋根工事が売り上げの半分を占める。 近年は新築のほかにリフォーム用の屋根や工場用の 屋根、壁などの受注が増えている。元請けからの仕事 が中心だが、顧客からの紹介やホームページ経由で 受ける仕事も少なくない。

### 機動力の高さも強み

建築板金工の千屋浩一社長が平成18年に個人事業 で創業。平成23年に法人化した。千屋社長は「人づてに 紹介してもらううちに仕事が広がった」と説明する。従業 員は20代の若手が多く、機動力の高さも強みの1つだ。

#### 補助事業

#### まっすぐ切断できない

屋根や外壁などで使う鋼板はコイル状で同社に搬入 され、機械で切断している。これまでの機械はまっすぐ 正確に切断できないという課題を抱えていた。不良率 が5%あり、対策として熟練者が切断していたものの、 不良品が出た場合は切断を繰り返さざるを得なかった。 鋼板の搬入から検品・確認までの加工時間も120分 を要し、生産効率が悪かった。

### 厚みのある鋼板に対応できず

また、企業のイメージアップを狙った工場の外装工事 や、中古住宅をスタイリッシュな外観にするリフォーム 工事が増えている。これらの工事では、より厚みのある 屋根材や壁材を使うことが多い。これまでの機械では 板厚0.4mまでしか切断できず、顧客ニーズに対応 できなかった。そこで鋼板を切断する最新の機械を 導入し、同社が持つノウハウと加工技術を組み合わ せることで、これらの課題の解決を図った。

### 不良率0%に

鋼板を切断するシャーリング

中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用し、幅4m の鋼板を切断できる機械 (シャーリング) を新たに 導入した。同社が持つノウハウと加工技術を組み 合わせることで生産性向上や競争力強化を図り、 売上高と利益の拡大を見据えた体制が構築できた。

具体的には、切り口がきれいでまっすぐに切断でき、 不良率を0%にした。加工時間も80分と従来より 40分も短縮。生産性を向上し、受注の増加に対応 できるようになった。

### 厚い屋根材や壁材も扱える

また顧客ニーズの板厚1.0mmを上回る板厚1.5mm まで切断できる。これまで対応できなかった、より 厚みのある屋根材や壁材も扱える。従来は外注に 出しており、納期が4一5日かかっていたうえ、納期 に間に合わない場合は直刃を使って手作業で切断 せざるを得なかった。

加工時間短縮の内訳は切断が30分、後工程の 曲げ加工で10分。精度の高い切断が曲げ加工の 時間短縮にもつながった。千屋社長は「板を機械に のせて足でボタンを押すだけで、寸分の狂いもなく 正確に切れる。仕事のレベルが上がった」と語る。

## 今後の戦略

### リフォーム需要に対応

鋼板の切断能力が上がり、不良率の低下や加工時間 の短縮を実現したことで、受注の増加が見込める。 特に期待できるのは工場や中古住宅のリフォーム 工事。ライフスタイルに合わせて住宅のリフォームを 志向する人が増えている。受注の増加に対応できる 体制を築いたことで、さらなる差別化ができ、市場 の成長性を取り込める。千屋社長は「デザイナーが 手がける住宅の仕事も増やしたい」と期待を込める。

また、近年の災害などを背景に瓦をやめて軽量な 屋根材にするリフォーム工事も増えている。生産性 向上を機に、こうした需要にもより積極的に対応する。

#### 設備の有効活用も

一方、同社には新たに導入したシャーリングの ほか、幅6mの鋼板の曲げ加工ができるベンダー、 コイル状で搬入された鋼板を平らにするレベラーと いった設備がある。これらを有効活用しようと、板金 加工そのものを第2の事業の柱に育てる。取引の ある企業に「あなたの会社の作業場に」と声をかけた ところ、建築材料卸などから引き合いがあった。 今後、加工の受注をさらに増やし、設備の稼働率 アップを目指す。

### 千屋板金工業 株式会社

代表取締役 千屋(ちや) 浩一

〒591-0157 大阪府堺市南区高尾1-652-1 TEL. 072-204-2950 FAX. 072-204-2951

資本金/10.000千円 従業員/15名

主な取引先/建設会社、リフォーム会社など

主な保有設備/シャーリング、ベンダー、レベラーなど

主力製品/屋根工事、樋工事、外壁工事など





### "誠実"をモットーに

### 代表取締役 千屋 浩一

"誠実"をモットーに、"迅速"かつ"ていねい" を心がけて一つひとつの仕事に向き合って きました。変化する環境、多様化するニーズ に応え、お客様に喜んで頂けることを第一に 社員一同、まい進する所存です。



## http://chiyabankin.com/

### 取材を終えて

### 若手の育成にも力

平成29年8月に移転した本社にはベンダー、シャーリング、レベラーが 整然と並ぶ。「これだけの機械を持っている建築板金会社はない」と千屋社長 が強調する通り、他社との差別化に直結するラインナップだ。一方、創業当初 2名だった従業員は毎年のように増え、組織的な体制を築ける規模に成長 した。従業員は20代が多く、資格取得を奨励するなど育成にも力を入れて いる。ハードとソフトの両面から今後の飛躍が期待できそうだと感じた。

52 平成26・27年度ものづくり補助金成果事例集 平成26・27年度ものづくり補助金成果事例集 53